

営繕積算システム RIBC2 の主な変更点 (Ver.6.20 から Ver.7.00)

【内訳書作成システム/内訳書数量入力システム LITE/標準単価作成システム/単価登録システム】

1. 操作マニュアル(冊子)

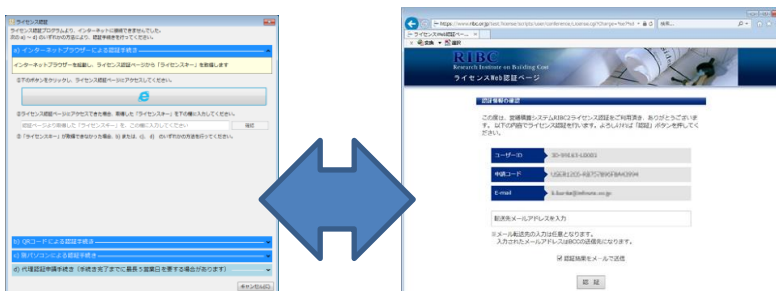
- 1) どの画面の説明をしているのかわかりやすいように、操作マニュアル(冊子)をカラー対応しました。
- 2) 一般的なパソコンの操作(例:「開く」「閉じる」等)や特定のユーザーでしか使用されない機能等の説明を操作マニュアル(冊子)から削除しました。(操作マニュアル(冊子)から削除した機能等の説明は、[ヘルプ]メニュー → [操作マニュアル]の操作マニュアル(PDF)等で確認いただけます。)

2. ライセンス認証・解除

従来からの手続きに加えて、下記の3つの手続きを追加しました。

a) インターネットブラウザによる手続き

RIBC2 を利用するパソコンがインターネットに接続可能な場合は、インターネットブラウザから、認証手続きを行うことができます。



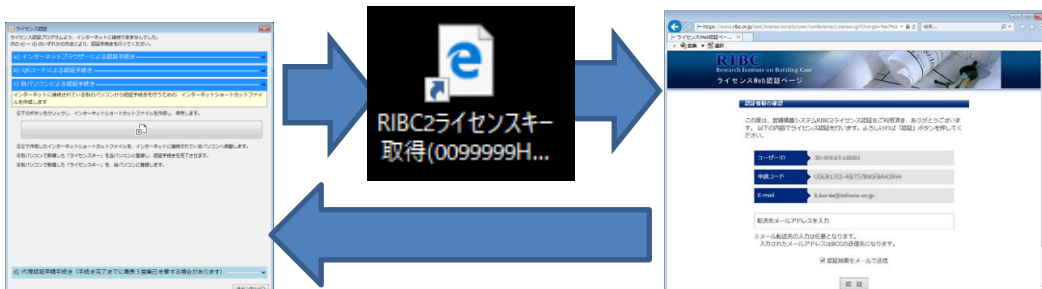
b) QRコードによる認証手続き

スマートフォン等の QR コード読取アプリで QR コードを読み取り、認証手続きを行うことができます。



c) 別パソコンによる手続き

RIBC2 を利用するパソコンがインターネットに接続出来ない場合は、インターネットに接続可能な別パソコンのインターネットブラウザから、認証手続きを行うことができます。



【内訳書数量入力システム LITE】

3. 内訳書数量入力システム LITE で共通費の算定が可能に

内訳書数量入力システム LITE で共通費の算定ができるようになりました。



【内訳書作成システム／内訳書数量入力システム LITE】

4. 「公共建築工事内訳書標準書式(平成 30 年版)」建築工事編 及び 設備工事編に対応

1) 公共建築工事内訳書標準書式(平成 30 年版)の科目別、中科目別、別紙明細書に対応



2) 「鉄筋スクラップ控除で単位の「▲」を削除する」に対応

Ver.7.00				Ver.6.20			
名称	概要	数量	単位	名称	概要	数量	単位
建築工事/庁舎/地業/場所打ちコンクリート杭地業				建築工事/【種目】1/地業/場所打ちコンクリート杭			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S 8 粗骨材20	0	m ³	普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S 8 粗骨材20	0	m ³
構造体強度補正		1	式	構造体工カト 強度と供試体の 強度差の割増し		1	式
真形鉄筋		0	t	真形鉄筋		0	t
鋼板		0	t	鋼板		0	t
鋼材スクラップ控除		1	式	鋼材スクラップ控除		▲1	式
施工費	工法	1	式	施工費	工法	1	式
杭頭処理		1	式	杭頭処理		1	式
杭の新荷試験		1	式	杭の新荷試験		1	式
計				計			
				建18発生土運搬	場外運搬	1	式
				発生材運搬	場外運搬 積込み共	1	式

5. 見積比較ファイルの平均値を採用する場合と細目別内訳書及び別紙明細書等に計上する単価の端数処理

(注:[Ver.6 互換]の見積比較ファイル及び内訳書ファイルでは利用できません。)

『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)国土交通省』の「第4 編、第1章、1 単価及び価格に関する数値の取り扱い」に対応しました。

1) 物価資料の掲載価格の平均値を採用する場合

(1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価等

イ. 平均値を採用する場合の端数処理は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

ロ. イの端数処理を行った結果が、物価資料の掲載価格の有効桁の最終の桁の位と異なる場合の端数処理は、有効桁の最終の桁の位が最も小さい桁の位とする。

『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)』より

見積比較端数処理

(1) 平均値を採用する場合の端数処理

- イ: 代価表の有効桁設定の有効桁を採用(Q)
- ロ: 各社の単価と代価表の有効桁設定を比較し、小さい桁の位を採用(1)
- ハ: 各社の単価と代価表の有効桁設定を比較し、多い方の有効桁を採用(2)
- ニ: 原則、一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。(3)
ただし、物価資料の掲載価格が一円以上で小数点以下を含む場合は、掲載価格の有効桁の最終の桁の位が最も小さい桁の位とする。

(注) 平均値を採用しない場合は、代価表の端数処理に従う。
(注) 平均値×調整率(1.00以外)は、代価表の端数処理に従う。

【平均値の端数処理を行う時の有効桁数の考え方】
一の位より下の小数点がない末尾で括弧している0は、単価の有効数字に含めない。
【例】
・1,000円の場合、有効桁は1桁(千円単位)
(注)一の位と十の位と百の位の0は有効数字に含めない。
・1,001円の場合、有効桁は4桁(一円単位)
(注)十の位と百の位の0は有効桁数に含まれる
・1,000.1円の場合、有効桁は5桁(小数点以下第1位)
(注)一の位と十の位と百の位の0は有効桁数に含まれる。

(2) 細目別及び別紙明細書に計上する単価

- 内訳書ファイルの代価表の端数処理の有効桁を採用する(4)
- 「(1) 平均値を採用する場合の端数処理」の有効桁を採用する(5)

システム記憶(S) システム値に戻す(B) デフォルト値に戻す(D) 更新(U) OK キャンセル(C)

2) 細目別内訳書及び別紙明細書等に計上する単価の端数処理

(4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額

イ. 細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とする。

『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)』より

(2) 細目別及び別紙明細書に計上する単価

- 内訳書ファイルの代価表の端数処理の有効桁を採用する(4)
- 「(1) 平均値を採用する場合の端数処理」の有効桁を採用する(5)

システム記憶(S) システム値に戻す(B) デフォルト値に戻す(D) 更新(U) OK キャンセル(C)

6. 共通費算定に関する数値の取り扱い(「文部科学省」版に対応)

(注:[Ver.6 互換]の内訳書ファイルでは利用できません。)

共通費基準の率により算定した金額の一元未満の端数処理を「切捨て(初期値)」と「四捨五入」の選択ができるようになりました。

公共建築工事積算基準等資料【国土交通省】(初期値)

第 3 編 共 通 費

第 1 章 共 通 事 項

1 共通費算定に関する数値の取り扱い

(1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、一元未満 **切捨て** とする。

公共建築工事積算基準等資料【文部科学省】

第 3 編 共 通 費

第 1 章 共 通 事 項

1 共通費算定に関する数値の取扱い

(1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、1円単位とする。端数整理を行う場合は、**四捨五入** とする。

7. 用語の見直し

『公共建築工事積算基準』や『公共建築工事積算基準等資料』等の積算基準類に合わせて、用語を見直しました。

例1: 共通費情報 → 共通費基準

第 1 編 総則

公共建築工事積算基準等資料（以下「本資料」という。）は、「公共建築工事積算基準（平成28年12月20日付け国営積第18号）」、「公共建築工事共通費積算基準（平成28年12月20日付け国営積第18号）」（以下「共通費基準」という。）、「公共建築工事標準単価積算基準（平成28年12月20日付け国営積第18号）」（以下「単価基準」という。）等を円滑かつ適切に運用するために必要な事項をとりまとめたものである。

『公共建築工事積算基準の解説』より

例2: 原設計 → 当初設計

1.3 設計変更時の取り扱い

単価基準 第1編5の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に対応して種目が追加された場合の単価及び価格は、総括監督員の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。

『公共建築工事積算基準等資料』より

例3: 共通費分割設定 → 共通仮設費の区分

第 2 章 共通仮設費

1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、一般工事、鉄骨工事、その他工事及び発生材処分費に区分して算定する。

なお、ここでいう一般工事とは、鉄骨工事、その他工事及び発生材処分費以外ををいう。

『公共建築工事積算基準等資料』より

例4: 共通費細目別(積上げ) → 共通仮設費明細書・現場管理費明細書・一般管理費等明細書

例5: 共通費別紙明細(積上げ) → 共通費別紙明細書

I 総 論

数量書は、予定価格のもととなる工事費内訳書から、単価及び金額等を削除するなどの加工・編集を施したものとし、原則として全数量を公開範囲とする。

また、工事費内訳書において、数量を一式としている項目の根拠となる項目数量を記載した別紙明細書及び共通仮設費や現場管理費の算定の際に必要な応じ積上げられる項目数量等を記載した共通仮設費明細書や現場管理費明細書についても、同様の扱いとする。ただし、軽微なものや任意仮設に係わる数量を記載した別紙明細書及び共通費別紙明細書については除くことができるものとする。

『公共建築工事積算基準の解説』より

8. メニュー標記の見直し

機能がイメージしやすいメニュー標記に見直しました。

Ver.7.00	Ver.6.20

9. 公共住宅事業者等連絡協議会の HP (資料閲覧) 2017.9.14「公共住宅屋外整備工事積算基準の廃止に向けた対応について」に対応



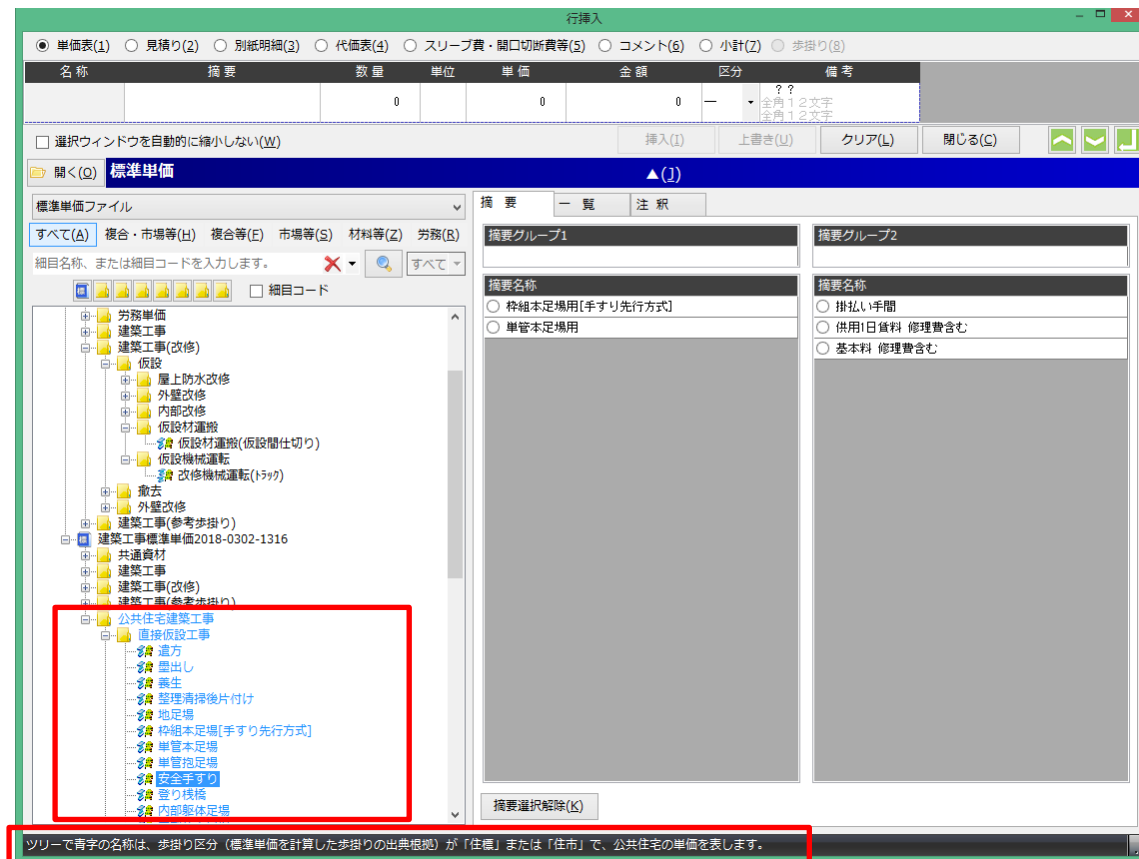
「共通仮設費の区分」に、その他工事(共通仮設費率を1%、現場管理費率を2%)の設定を追加しました。

Ver.7.00	Ver.6.20
<p>共通仮設費の区分</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 建築工事 一般工事 <input type="radio"/> 建築工事 特殊工事 <input type="radio"/> 建築工事 その他工事 <input type="radio"/> 建築工事 率対象外 	<p>工事分割設定</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 建築工事 一般工事 <input type="radio"/> 建築工事 特殊工事 <input type="radio"/> 建築工事 率対象外
<p>共通仮設費の区分</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 電気設備工事 一般工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 テレビ電波障害防除設備工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 特殊工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 その他工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 率対象外 	<p>工事分割設定</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 電気設備工事 一般工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 テレビ電波障害防除設備工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 特殊工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 率対象外
<p>共通仮設費の区分</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 機械設備工事 一般工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 エレベーター設備工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 特殊工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 その他工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 率対象外 	<p>工事分割設定</p> <p>公共住宅建設工事積算基準(平成29年度版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 機械設備工事 一般工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 エレベーター設備工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 特殊工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 率対象外

10. 公共住宅歩掛りデータの「標準歩掛り(住標)」と「市場単価(住市)」

単価表から単価を選択する時に、公共住宅の単価と公共建築の単価を見分けやすいように、ツリーの名称の色を、公共住宅の「標準歩掛り(「住標)」と「市場単価(「住市)」の場合は、「青字」で表示するようにしました。

【行挿入(単価表)】



さらに、細目別内訳書・別紙明細書等に登録された後でも見分けられるように、備考欄の単価コードを「青字」で表示するようにしました。

【細目別内訳書】

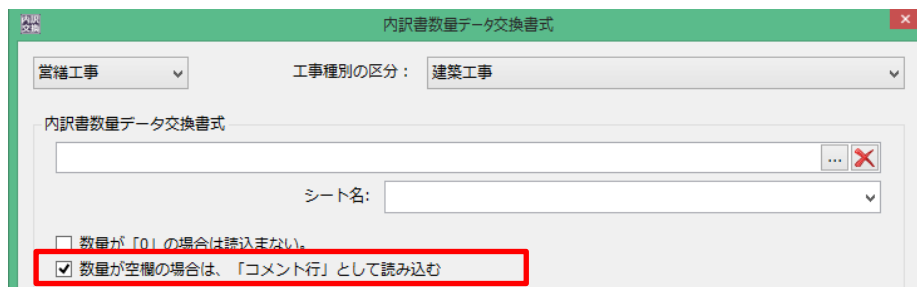
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建築工事/[種目]1/直接仮設						
安全手すり	枠組本足場用[手すり先行方式] 掛払い手間	0	m	0	0	B0-160109 No.2 住標

11. 内訳書数量データ交換書式

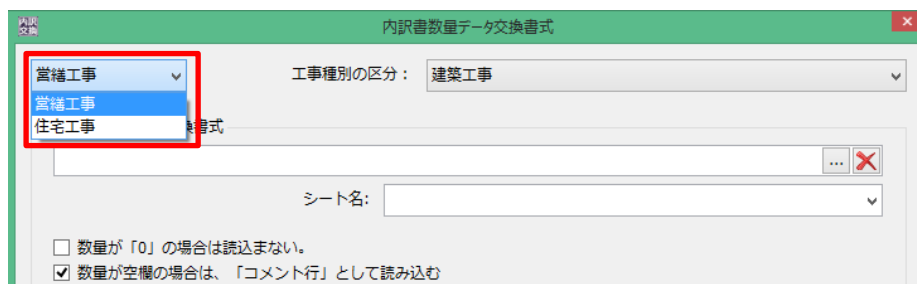
1) 内訳書数量データ交換書式の読み込み機能を[データ]メニューに移動しました。



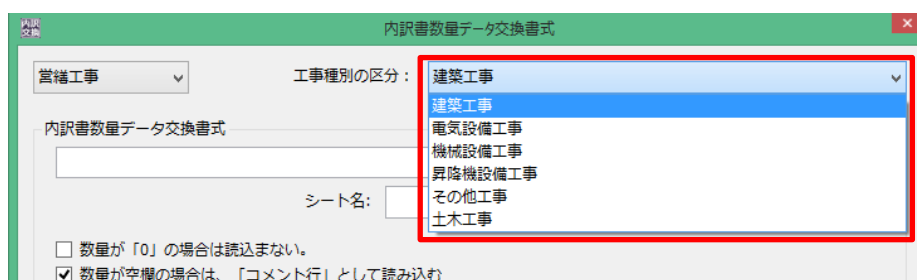
2) 数量が空欄の場合は、「コメント行」として読み込むことができるようになりました。



3) 「営繕工事」と「住宅工事」の設定ができるようになりました。



4) 工事種別の区分の設定ができるようになりました。



12. 単価表行の単価名称を編集した時の処理

単価表行の単価名称を編集した時の処理の[プロパティ]→[編集]の設定を削除して、編集後は常に選択するように変更しました。

Ver.7.00	Ver.6.20
<p>共通費の算定方法</p> <p><input checked="" type="radio"/> 率による算定 (率に含まれないものは積み上げによる)</p> <p>参照ファイル <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="表示"/> <input type="button" value="カスタマイズ"/></p> <p>標準単価の備考を内訳書にコピーしますか</p> <p><input checked="" type="radio"/> コピーしない(E)</p> <p><input type="radio"/> 備考1にコピー(E)</p> <p><input type="radio"/> 備考2にコピー(G)</p> <p>代価表一覧の備考を内訳書にコピーしますか</p> <p><input checked="" type="radio"/> コピーしない(Y)</p> <p><input type="radio"/> コピーする(J)</p>	<p>共通費計算</p> <p><input checked="" type="radio"/> 率と積み上げ(B) <input type="radio"/> 積み上げのみ(I)</p> <p>参照ファイル <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="表示"/> <input type="button" value="カスタマイズ"/></p> <p>標準単価の備考を内訳書にコピーしますか</p> <p><input checked="" type="radio"/> コピーしない(E)</p> <p><input type="radio"/> 備考1にコピー(E)</p> <p><input type="radio"/> 備考2にコピー(G)</p> <p>代価表一覧の備考を内訳書にコピーしますか</p> <p><input checked="" type="radio"/> コピーしない(Y)</p> <p><input type="radio"/> コピーする(J)</p> <p>単価表から選択した行の名称等を変更したときの処理</p> <p><input checked="" type="radio"/> 「ワープロ行」にする(W)</p> <p><input type="radio"/> 「標準選択名称修正行」にする(H)</p> <p><input type="radio"/> 「代価表呼び出し行」にする(D)</p> <p><input type="radio"/> 常に選択する(S)</p>

(例:「φ 350～600」を「φ 400」に書き換える)

杭間ざらい	既製コンクリート杭	φ 350～600	43	本	1,460	62,780	B0-432232	yyymm新	市場
-------	-----------	-----------	----	---	-------	--------	-----------	--------	----

単価表行の単価名称を編集したときの処理

- 見積り行に置き換えて、単価表との関連付けを切る(1)
注:「単価表行の単価を一括で入れ替え」で単価の入れ替えができなくなります
- 単価名称のみ編集して単価表との関連付けは切らない(2)
※「単価表行の単価を一括で入れ替え」で単価の入れ替えができます
- 代価表行に置き換えて、編集前の単価表行を代価表の単価構成内容に移動する(3)
※「単価表行の単価を一括で入れ替え」で代価表の単価構成内容の入れ替えができます
注:代価表の件数が増えてしまいます

見積り行に置き換えて、単価表との関連付けを切る

杭間ざらい	既製コンクリート杭	φ 400	43	本	1,460	62,780	(見積り)		
-------	-----------	-------	----	---	-------	--------	-------	--	--

単価名称のみ編集して単価表との関連付けは切らない

杭間ざらい	既製コンクリート杭	φ 400	43	本	1,460	62,780	B0-432232	yyymm新	※市場
-------	-----------	-------	----	---	-------	--------	-----------	--------	-----

代価表行に置き換えて、編集前の単価表行を代価表の単価構成内容に移動する

杭間ざらい	既製コンクリート杭	φ 400	43	代本	1,460	62,780	代価表 0001		
-------	-----------	-------	----	----	-------	--------	----------	--	--

【標準単価作成システム/単価登録システム】

13. 「公表単価表」の墨塗り印刷 (Ver.6.30 に先行搭載。)

物価資料の掲載価格及び掲載価格を用いて算定された単価を自動的に墨塗りする。
 または、指定した単価を墨塗りする、「公表単価表」の墨塗り印刷機能を追加しました。

【単価表の墨塗りイメージ】

DID区間有り		m ³			
		ダンプトラック 10t積載			
		バックホク0.45m ³	バックホク0.8m ³	バックホク1.4m ³	クマシヤ0.6m ³
	土砂	土砂	土砂	土砂	
0.3km以下	—	■	■	—	
0.5km以下	■	■	■	■	
1.0km以下	■	■	■	—	
1.5km以下	■	■	■	—	
2.0km以下	■	■	■	■	
2.5km以下	—	—	■	—	
3.0km以下	■	■	■	—	
3.5km以下	—	■	■	—	
4.0km以下	■	—	—	■	
4.5km以下	—	—	■	—	
5.0km以下	—	■	—	■	
5.5km以下	■	—	■	—	
6.0km以下	—	■	—	—	
6.5km以下	—	—	■	■	
7.0km以下	■	■	—	—	

14. 一次単価リストの墨塗り印刷 (Ver.6.30 に先行搭載。)

刊行物単価を「マスク処理する」から「墨塗りする」に変更しました。

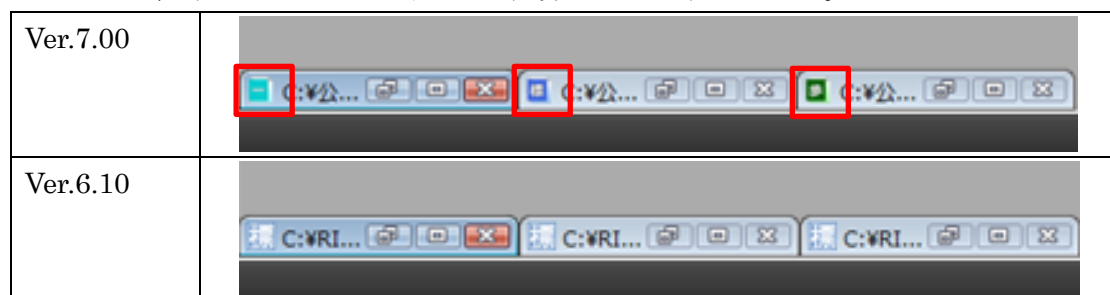


【一次単価リストの墨塗りイメージ】

共通資材／コンクリート／レディーミストコンクリート				
細目	摘要	単位	決定単価	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度21 S16 粗骨材20	m3	■■■■	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度24 S15 粗骨材20	m3	■■■■	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度24 S16 粗骨材20	m3	■■■■	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度27 S15 粗骨材20	m3	■■■■	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度27 S16 粗骨材20	m3	100	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度30 S15 粗骨材20	m3	■■■■	
普通コンクリート(高炉セメントB種使用)	JIS A5308 呼び強度30 S16 粗骨材20	m3	100	
共通資材／コンクリート／骨材				
砂	埋戻し用	m3	100	
砂	コンクリート再生材	m3	100	
砂	荒目	m3	■■■■	

15. ウィンドウを最小化した時のアイコン表示 (Ver.6.30 に先行搭載。)

一次単価ファイル、「その他」の率ファイル、歩掛りファイル、標準単価ファイル等の複数のファイルが開かれている時に、ウィンドウを最小化した場合、どのファイルなのか見分けがつかなくなったので、ファイルのアイコンを表示して見分けがつくようにしました。



16. 『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)国土交通省』の「第4 編、第1章、1 単価及び価格に関する数値の取り扱い」に対応

1) 一次単価の端数処理

『公共建築工事積算基準等資料』に準じて初期値を変更しました。

(1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価等

イ. 平均値を採用する場合の端数処理は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)』より

Ver.7.00	Ver.6.10																																																																		
<p>端数処理</p> <p><input checked="" type="radio"/> イ:有効桁設定の有効桁に従い四捨五入 <input type="checkbox"/> 小数点以下第3位以降がある場合切捨て</p> <p><input type="radio"/> イ:有効桁設定の有効桁に従い切捨て</p> <p><input type="radio"/> イ:有効桁設定の有効桁に従い切上げ</p> <p><input type="radio"/> 小数点以下第2位未満切捨て</p> <p>端数処理 <input type="text" value="イ:有効桁設定(注)初期値:『公共建築工事積算基準等資料』に準じる"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有効桁</th> <th>有効桁</th> <th>有効桁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一円未満</td> <td>小数点以下第2位</td> <td>小数点以下第2位</td> </tr> <tr> <td>十円未満</td> <td>有効上位1桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>百円未満</td> <td>有効上位2桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>千円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>一万円未満</td> <td>有効上位4桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>十万円未満</td> <td>有効上位5桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>百万円未満</td> <td>有効上位6桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>一千万円未満</td> <td>有効上位7桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>一億円未満</td> <td>有効上位8桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>一億円以上</td> <td>有効上位9桁</td> <td>一円単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>システム記憶 システム値に戻す デフォルトに戻す</p>	有効桁	有効桁	有効桁	一円未満	小数点以下第2位	小数点以下第2位	十円未満	有効上位1桁	一円単位	百円未満	有効上位2桁	一円単位	千円未満	有効上位3桁	一円単位	一万円未満	有効上位4桁	一円単位	十万円未満	有効上位5桁	一円単位	百万円未満	有効上位6桁	一円単位	一千万円未満	有効上位7桁	一円単位	一億円未満	有効上位8桁	一円単位	一億円以上	有効上位9桁	一円単位	<p>端数処理</p> <p><input type="radio"/> しない(小数点以下第3位以降がある場合切り捨て)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 四捨五入 <input type="checkbox"/> 小数点以下第3位以降がある場合切り捨て</p> <p><input type="radio"/> 切り捨て</p> <p><input type="radio"/> 切り上げ</p> <p>単価×補正率</p> <p><input type="radio"/> しない(小)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有効桁設定</p> <p><input type="radio"/> 単価欄の非</p> <p><input type="radio"/> 円単位(一)</p> <p>端数処理 <input type="text" value="イ:有効桁設定(注)初期値:『公共建築工事積算基準等資料』に準じる"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有効桁</th> <th>有効桁</th> <th>有効桁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一円未満</td> <td>小数点以下第2位</td> <td>小数点以下第2位</td> </tr> <tr> <td>十円未満</td> <td>有効上位1桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>百円未満</td> <td>有効上位2桁</td> <td>一円単位</td> </tr> <tr> <td>千円未満</td> <td>有効上位2桁</td> <td>十円単位</td> </tr> <tr> <td>一万円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>十円単位</td> </tr> <tr> <td>十万円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>百円単位</td> </tr> <tr> <td>百万円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>千円単位</td> </tr> <tr> <td>一千万円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>一万円単位</td> </tr> <tr> <td>一億円未満</td> <td>有効上位3桁</td> <td>十万円単位</td> </tr> <tr> <td>一億円以上</td> <td>有効上位3桁</td> <td>百万円単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>システム記憶 システム値に戻す デフォルトに戻す</p>	有効桁	有効桁	有効桁	一円未満	小数点以下第2位	小数点以下第2位	十円未満	有効上位1桁	一円単位	百円未満	有効上位2桁	一円単位	千円未満	有効上位2桁	十円単位	一万円未満	有効上位3桁	十円単位	十万円未満	有効上位3桁	百円単位	百万円未満	有効上位3桁	千円単位	一千万円未満	有効上位3桁	一万円単位	一億円未満	有効上位3桁	十万円単位	一億円以上	有効上位3桁	百万円単位
有効桁	有効桁	有効桁																																																																	
一円未満	小数点以下第2位	小数点以下第2位																																																																	
十円未満	有効上位1桁	一円単位																																																																	
百円未満	有効上位2桁	一円単位																																																																	
千円未満	有効上位3桁	一円単位																																																																	
一万円未満	有効上位4桁	一円単位																																																																	
十万円未満	有効上位5桁	一円単位																																																																	
百万円未満	有効上位6桁	一円単位																																																																	
一千万円未満	有効上位7桁	一円単位																																																																	
一億円未満	有効上位8桁	一円単位																																																																	
一億円以上	有効上位9桁	一円単位																																																																	
有効桁	有効桁	有効桁																																																																	
一円未満	小数点以下第2位	小数点以下第2位																																																																	
十円未満	有効上位1桁	一円単位																																																																	
百円未満	有効上位2桁	一円単位																																																																	
千円未満	有効上位2桁	十円単位																																																																	
一万円未満	有効上位3桁	十円単位																																																																	
十万円未満	有効上位3桁	百円単位																																																																	
百万円未満	有効上位3桁	千円単位																																																																	
一千万円未満	有効上位3桁	一万円単位																																																																	
一億円未満	有効上位3桁	十万円単位																																																																	
一億円以上	有効上位3桁	百万円単位																																																																	

2) 標準単価の端数処理

『公共建築工事積算基準等資料』に準じて、「一次単価」を細目別内訳書及び別紙明細書に計上する場合の端数処理の設定を追加しました。

(4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額

イ. 細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とする。

『公共建築工事積算基準等資料(平成 30 年版)』より

一億円未満	有効上位3桁	十万円単位	55,555,555.55	55,600,000
一億円以上	有効上位3桁	百万円単位	555,555,555.55	556,000,000

上記の端数処理を標準単価等により算出された単価以外の一次単価(物価資料に基づく材料単価、市場単価等)にも適用する

システム記憶 システム値に戻す デフォルトに戻す 更新 OK キャンセル(C)

17.ファイルの形式の変更(標準単価/歩掛り/一次単価/「その他」の率/補正率/計算条件/名称/見積比較/他)

これまで、RIBC2 で採用している Microsoft SQL Server Compact (データベースエンジン) が、Windows10 からサポート外 になったことを受けて、標準単価ファイル、歩掛りファイル、一次単価ファイル、「その他」の率ファイル、補正率ファイル、計算条件ファイル、名称ファイル、見積比較ファイルのファイル形式を SQL Server Compact に依存しない形式に変更しました。

併せて、ファイルのアイコンと拡張子を変更しました。

ファイル	Ver.7 形式	Ver.1-6 形式	ファイル互換
標準単価			
歩掛り			
一次単価			
「その他」の率			
補正率			
計算条件			
名称			
見積比較			

注1:平成 30 年 4 月中旬に提供予定の、「平成 30 年版の共通歩掛りデータ」は、新しいファイル形式での提供となります。

注2:Ver.7.00 以前の RIBC2 で作成したファイルを「上書き保存」する際、下記の確認画面が表示されるので、速やかに新しい形式に保存し直してください。

